



### 熱い夏が戻ってきた～!第74回清水みなと祭り

「もどってこい!これがみなと祭りだ」をキャッチフレーズとして、8月4日から「第74回清水みなと祭り」の3日間にわたる「清水の熱い夏」が始まりました。

4日は各自治会選りすぐりの踊り子の皆さんによって「みなと小唄」や「清水おどり」などの息の合った地踊りが披露されました。

また、4日と5日には「港かっぱれ総踊り」が行われ、躍動感あふれる踊りでさつき通りは熱気に包まれました。日の出埠頭

では補給艦「ときわ」の一般公開や航空自衛隊の展示飛行も行われるなど、日の出埠頭周辺は祭り一色に彩られました。

最終日の6日には、次郎長道中や太鼓、神輿などの伝統芸能が披露され、祭りのフィナーレを飾る「海上花火大会」では、海上に浮かぶ台船から1時間に1万発の花火が絶え間なく打上げられ、港に響く大音響と色とりどり華やかな花火の余韻を残したまま、第74回清水みなと祭は幕を閉じました。



▲ 海上花火大会(日の出埠頭)



▲ 港かっぱれ総踊り(さつき通り)

▲ 地踊り衆(さつき通り)

### 清水港へ外国クルーズ船の寄港が再開されました!

令和5年3月1日、清水港から再開された我が国への外国クルーズ船の寄港。清水港では、その後も寄港ラッシュが続いており、今年度は過去最高となる70隻を越える寄港が見込まれています。

クルーズ船には華があり、見ていてワクワクするものです。ビルよりも高い大きなクルーズ船もあり、一見の価値があります。

また、乗船客は、地元の方との触れ合いを楽しみにされています。是非、見学に、清水港の日の出埠頭までおこしください。見て楽しみ、乗船客と触れ合うことで、国際海洋文化都市・清水を感じていただけたらと思います。

寄港情報は、下記の清水港客船誘致委員会ホームページや公式Instagramに掲載していますので、是非ご覧ください。



▲ 寄港再開第1号となった「アマデア」



ビルよりも大きな「ダイヤモンドプリンセス」▶

清水港客船誘致委員会  
公式ホームページ



清水港客船誘致委員会  
公式Instagram



しずおか自治連だよりに関する  
ご意見・ご感想をお寄せ下さい

連絡先: 静岡市葵区追手町5番1号 TEL・FAX: 054-221-1568  
ホームページ: <http://www.shizuoka-jichikai.net/>



発行/静岡市自治会連合会 編集/広報編集委員会  
2023年(令和5年)11月1日発行/発行部数 261,500部

\*過去の「しずおか自治連だより」は静岡市自治会連合会のホームページでご覧になれます!!

# しずおか自治連だより

令和5年4月1日現在推計人口679,107人 自治会・町内会数954会



## 静岡市ホームタウンチーム紹介

**S-PULSE** 清水エスパルス  
(男子サッカー)

**CHANSON V-MAGIC** シャンソンVマジック  
(女子バスケットボール)

**VELTEX SHIZUOKA** ベルテックス静岡  
(男子バスケットボール)

**SHIZUOKA BlueRevs** 静岡ブルーレヴズ  
(男子ラグビー)

**SHIZUOKA JADE** 静岡ジェード  
(男子卓球)

清水庵原球場を本拠地とする  
プロ野球新球団の創設を目指して

**Seto** 静甲女子ソフトボール部  
(女子ソフトボール)

**SHIMIZU Daihachi Pleiades** 清水第八プレアデス  
(女子サッカー)

ハヤテグループは、清水庵原球場を本拠地としたプロ野球ファーム・リーグへの参加を目指しています。  
県内初の新球団創設にぜひご注目ください!

## 静岡市はホームタウンチームを全力で応援しています!!

静岡市をホームタウンに活動するスポーツチームは、サッカー・バスケットボール・ラグビー・卓球・ソフトボールの5種目・7チームがあります。

誇りをもたらしてくれます。子どもたちにとっては、夢や目標を持つきっかけになるでしょう。

オール静岡でホームタウンチームを応援しましょう!!

ホームタウンチームはまちの象徴であり、私たちに地域への

問合せ スポーツ交流課 TEL:054-221-1072



### 卓球Tリーグ「静岡ジェード」が誕生 ～地域社会を幸せに～

卓球の国内トップリーグ・Tリーグに、静岡市をホームタウンとする男子チーム「静岡ジェード」が2023-2024シーズンから参入しました。チームは中山間地域オクシズの旧足久保小学校を練習拠点とし、「オクシズ発のプロ卓球チームとして、同地域にチームの拠点を置き、静岡を活性化する」などを方針として掲げています。チーム運営会社は、梅ヶ島、大河内、薬科地区で地元自治会連合会と連携して卓球イベントを開催し、卓球だけでなく、地場産品を販売するマルシェなど、オクシズをはじめ葵区の魅力を積極的に発信しています。



▲卓球講習会

また、高齢者向けに卓球教室を開催するなど、誰もが気軽に楽しめる卓球を活用した市民向け健康増進の取り組みも進めています。みんなで卓球を『する! みる! ささえる!』で静岡を盛り上げていきましょう。

高齢者向け卓球教室▶



▲オクシズマルシェ

### 谷津山の歴史と自然を守る取り組み ～沓谷歴史と自然の会～

葵区の平野部の中心にある谷津山は、古代には山頂に県内最大級の古墳が造られ、室町時代以降には山麓北側に今川家・徳川家ゆかりの寺社が多く造営されるなど駿府の歴史を今に伝えています。

その谷津山の歴史と自然を守るため、千代田学区(沓谷地区)の住民有志で3年前にボランティアグループ『沓谷歴史と自然の会』を組織し、沓谷三丁目の龍雲寺にある寿桂尼<sup>じゅけいに</sup>の墓所の周辺を中心に活動を始めました。竹やぶや草むらに覆われた土地も竹の伐採や破碎、参道の草刈りなどを続け、ようやく風光明媚な往時の景観を取り戻しつつあります。

また、同会では寿桂尼の顕彰活動にも取り組んでおり、今年度は、山車に乗った寿桂尼を静岡まつり大御所花見行列に登場させ、多くの見物客の注目を集め、好評をいただきました。

今後も谷津山の歴史と自然の魅力をさらに発信していきたいと考えています。

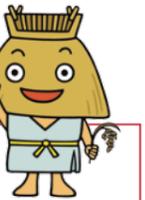
※寿(じゅ)桂(けい)尼(に):今川義元公の母君。京都の公家から駿府に嫁ぎ、今川家4代を支えた才色兼備の女性と伝えられ、現代に続く駿府の礎を築いた人物のひとり。



▲「沓谷歴史と自然の会」の活動



▲静岡まつり大御所花見行列へ寿桂尼も参加



### 登呂まつり ～弥生時代の文化を体験しよう～



▲トロペーも大活躍



▲古代おどりの披露

登呂まつりは毎年10月に開催される弥生時代の文化を体験するお祭りで、登呂で栄えた祖先たちに収穫を感謝するお祭りです。オープニングの五穀豊穡を祈願する“新穀感謝祭”では弥生時代の衣装を纏った古代おどりの披露や登呂遺跡にある田んぼで育てた古代米(赤米)の試食が行われます。

また、火起こしや土器作り体験など弥生時代の文化や暮らしに触れるコーナーも設けられています。その他にも様々な催しがあり、駿河区のマスコットキャラクター「トロペー」も参加して終日会場を盛り上げています。皆様、ぜひ足を運んで、弥生時代にタイムスリップしてください。



▲火起こし体験

### 静岡南北道路長沼立体の整備

～渋滞解消に向けて～

国道1号と山脇大谷線が交差する長沼交差点周辺では、慢性的な渋滞が発生しており、地域産業、市民生活へ多大な損失を与えています。その課題解決策として、国、県、市の協議の結果、立体化の方向性を決定しました。

静岡南北道路長沼立体は、静岡鉄道踏切と長沼交差点を跨ぐ立体化と長沼大橋の橋梁架け替えを一体的に実施する事業で、長沼立体が実現することにより、長沼交差点の渋滞解消だけでなく、長沼大橋の老朽化や耐震性の課題解消、さらには、静岡市における交通ネットワークの強化が期待されます。



▶ 渋滞している長沼交差点周辺

### 大谷・小鹿地区土地区画整理事業

～“活発に交流し、価値を創り合う 創造型産業のまち”に向けて～

大谷・小鹿地区は静岡市に残された数少ないまとまった平坦地であるため、市全体の発展につながる大きな可能性を秘めた重要な地区です。令和元年9月に「日本平久能山スマートインターチェンジ」が新たに供用されたことにより、本地区の市街化への期待が高まりました。

当地区のうち、「恩田原・片山地区」では工業・物流施設の集積によるまちづくり、「宮川・水上地区」では市内外から多くの来訪者を呼び込むまちづくりを目指して、現在組合施行による土地区画整理事業が実施されています。



▶ 大谷・小鹿地区土地区画整理事業エリア図